

令和5年度 第1回幕別町図書館協議会会議録

1 日 時 令和5年6月28日(水) 午後4時から5時まで

2 場 所 幕別町図書館研修室

3 出席者

(1) 委 員 7名

山根会長、瀬藤副会長、増田委員、佐々木委員、本間委員、藤川委員、江波委員、
※山下委員、竹田委員、小笠原委員は欠席

(2) 事務局 5名

川瀬教育部長、岩岡図書館長、民安図書係長、佐藤司書、西川司書補

4 会議次第 議事進行：山根会長

(1) 議事1 令和4年度 利用統計及び事業報告について

「【資料1】令和4年度図書館事業等の報告」及び「【資料2】令和5年度要覧」
に基づき説明。

【質問】 本間委員

- ・ アフターコロナということで事業が増えたと思われる。これからも継続してほしい。事前に資料を配布してもらったが、変更はないか。

【説明】 事務局

- ・ 内容等の変更はない。

【結果】 その他、質問・意見・異議無し。

(2) 議事2 令和5年度 運営計画（事業及び蔵書計画）について

「【資料3】令和5年度図書館運営計画【事業計画】」及び「【資料4】令和5年度図書館運営計画【蔵書計画】」並びに「【資料5】令和5年度蔵書計画（参考）」
に基づき説明。

【説明】 事務局

- ・ 図書館では、「第6期幕別町総合計画」及び「第6期幕別町生涯学習中期計画」並びに「第4期子どもの読書活動推進計画」に基づき事業等を計画・実施している。加えて、昨年度、みなさまにお諮りし策定した「幕別町図書館基本方針」が本年度より反映されている。
- ・ 事業計画において、ここには記載していないが、発達支援センターとの連携事業で、センター内に季節にあわせたものなど図書館の本を展示し、センターから自宅に持ち帰ることができる貸出文庫の設置を協議している。

- ・ 蔵書計画は、「幕別町図書館基本方針」にある「蔵書計画」をもとに立てている。資料5は抜粋したものである。(2)の「幕別町図書館資料収集方針」に基づき、蔵書を計画的に形成・維持するため、目安とする目標値を設定し、詳細を年度毎の運営計画で定めるとしているの、計画するものである。年間計画の数値は、時勢、社会状況で出版される本、必要とされる本が異なってくるため、あくまでも蔵書が偏らないための目安である。

【意見】 本間委員

- ・ 「まくたいとる」など、事業のキャッチコピーが素晴らしい。参加したいと思わせるので、キャッチコピーは大事だと思う。

【質問】 本間委員

5ページに「BMによる小学校への巡回」とあるが、BMとは何か。

【説明】 事務局

- ・ 移動図書館のことである。幕別小学校は、毎月第2、第4水曜日に巡回している。

【質問】 瀬藤副会長

- ・ あべ弘士さんの絵本パネル展を開催するとのことだが、今、動物は興味深いこともあるので良いと思うが、これを選んだ趣旨はどのようなものか。また、何枚ぐらいでどのようなストーリーなのか。

【説明】 事務局

- ・ あべ弘士さんは数年前、当館において工作教室の講師をしていただいたという関わりもあるが、他の図書館から「一緒に開催しませんか」という声掛けがあったからである。7月にKADOKAWAから出版される新刊の絵本パネルで、パネルは21枚だと聞いている。

【質問】 江波委員

- ・ 子育て講座での出前貸出について、今月、自分も子育て講座の講師をしたところだが、講座の担当者から、毎回、テーマにぴったりと合った本を選んでくれると聞いた。本はどのように選んでいるのか。
- ・ 来年度以降も講師をすることになると思うが、選んでくれた本の内容で話をするのも面白いと思ったので、そういったことは可能か。

【説明】 事務局

- ・ 本は、担当の司書がテーマに合わせて一人5冊ずつ選んでいる。
- ・ 江波委員の提案は、ぜひ取り組んでいきたい。

【意見】 佐々木委員

- ・ 発達支援センターとの連携で、本を家庭まで持ち帰る取組をするとのことだが、幕別町では、広報を見ると子どもの相談など積極的に行っているように見受けられる。自分の勤務地は幕別町ではないが、不登校の子どもが多いのが現状である。引きこもりの子どもは大変な思いをしているが、保護者も大変な思いをしている。保護者の心に寄り添うような、心の支えになるような本を図書館で選んで、「まっく・ざ・まっく」のような施設に置くというような支援をしてほしいと考える。

【説明】 事務局

- ・ 非常にありがたいご意見である。次年度に向けて、実現できるか研究していきたいと考える。

【結果】 その他、質問・意見・異議無し。

以上